

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝、唱和し理念を確認している。理念の柱である一期一会の精神の実践のため、日々の介護では一日一日を楽しく過ごして頂けるように工夫に努め、職員一人一人の成長のために研修などを通して学ぶ機会を作っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のなかで接触を制限しているので交流は難しいが町内会長、民生委員の方に地域とのハブとなって頂けるように運営推進会議などで施設内の状況を報告している	施設職員に町内会の役員会などに参加してもらい地域の方々顔を合わせて、災害などで避難する時、困った時には駆けつけてもらえるような、信頼関係を築いてほしい		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	書面開催のため直接の意見交換の機会は少ないが可能な限り意見を反映している。書面では利用者の普段の表情や外出先での様子、避難訓練への取組や反省点などを紹介し、ヒヤリハットや事故報告、研修状況や身体拘束委員会活動報告等、ホームの現状を伝えている	事業所内の報告でとどまっているような会議ではなく、施設内での課題や取り組みを会議で取り上げていけば、より良いものになるのではないかと。また会議では、地域の方々が気軽に行けるようなホームにしてもらえるよう様々な意見を提案していきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市役所担当者へ運営推進会議への毎回の参加をお願いし、ホームの現状を発信し適切な意見を受けている。行政主催の会議や役所では担当課の職員や他事業所と連携できるように意見交換に努めている	えがお職員が集団指導、市役所主催の災害の勉強会などで意見の交換をおこなっている様子を見たことがあった。また地域での会議などに市役所職員の方にも出席して頂ければより良いものになるのではないかと。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全員に周知するために身体拘束委員会やリスクマネジメント委員会が中心となって虐待や拘束にあたる行為の禁止についての啓発を行っている。また社会的な事例なども取り上げて普段から意識の向上に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は身体拘束委員会やリスクマネジメント委員会の活動報告を通じてホームの現状を把握し、運営推進会議での報告により地域に向けホームの透明性に努めている。今後は研修会に限らず普段から、社会的な事例を通し、話し合う機会ももっていけるように努めていきたい。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修や身体拘束委員会からの啓発資料を通し日ごろからの学びを行っている。不適切なケアになっていないか管理者はスタッフのケアの仕方や日頃の様子などに目を配り、声掛けを行う様に意識している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	拘束や虐待に対するホームの認識を高くもてるよう、スピーチロックなどの禁句ではなく、使いたい言葉を職員に考えてもらう時間など研修会を通して作るようにしている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護保険制度改正や後見制度などの勉強会に管理者やケアマネジャーが参加し職員全員に周知し知識共有に努めている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約の際に書面の説明を直に行っている。また契約の締結、改定などの際には必ず書面を渡していつでも内容を確認ができるようにしている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族の意見や要望は運営推進会議や面会時、メール、意見が引き出しやすいよう時には SNS を用いて伺うようにしている。本人の要望は日々の生活の中、例えば就寝前や洗濯をたたみながら自然に聞き取るように心がけている。またホーム運営に反映させるためのアンケート調査なども実施している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後は入居者や家族からの感謝の言葉なども記録に残し、職員の励みとなるような取組をしていきたい。また、家族に尋ねたい内容などを検討して、アンケートを実施することで、ホーム運営に反映させるなどの機会も設けていきたい
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	普段から職員間での報告・連絡・相談を意識し話やすい雰囲気作りに努めている。毎月のカンファレンスや代表者との個人面談で対話の機会も設けられている。職員からの意見は月1回のリーダー会議等で検討し、運営に反映されている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回の人事考課、各部署カンファレンスへの定期的な出席で把握に努めている。また人事考課の際に使用する評価項目は定期的な見直しや自己評価、職員同士の他者評価などをとりいれて職員の努力やケアへの貢献を評価に反映できるよう整備	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のカンファレンスや個人面談等で職員との意見交換の場を設けている。普段から職員間での報告・連絡・相談を意識し話やすい雰囲気作りに努めている。職員からの意見は月1回のリーダー会議等で検討し、運営に反映されている。

				に努めている。また代表は各部署の勤務状況の把握にも努めている。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員のケアの力量は人事考課を通し把握している。キャリアパス制度を設けスキルアップや資格取得のために内外研修(介護実務者研修、認知症実践者研修など)に参加を促し人材の育成に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員一人一人のケアに当たる姿勢を把握したうえで研修(内外)への参加の機会を確保していきたい、認知症実践者研修や実務者研修への参加、看護協会で開催される研修の参加、地域主催の勉強会参加を促していきたい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在、コロナ禍のため、直接の交流は控えているが、職員にオンライン研修やブロック会に出席してもらい、より良いサービスの構築ができるように他事業所との交流に努められている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自立支援を意識したケアに努めている。家事や工作にも積極的に参加してもらっている。職員は感謝と尊敬の気持ちを忘れずに生活を共にしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンラインでの面会や電話でつながり続けて頂けるように支援を行っている。コロナ禍の状況を踏まえつつ馴染みの場所へのドライブや3密を避けるための窓越しなどでの面会の機会も設けている。	馴染みの人に会えない心細さが認知症の悪化を招くこともあるのではないか。コロナ禍の中で困難だったかもしれないが、今後の施設の指針を市役所や地域の他施設の状況をみながら、地域や関係者に示していただいたい。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は利用者に寄り添いながら話を聞き、思いを組み取るようにしている。発語や単語が出てこない方でも顔つきや体の動きで推察し、家族の意向と合わせて、本人本位に検討している。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人・家族の意向を優先し、プランを立案している。さらにカンファレンスで職員の意見を反映させながら最終のプランを作成している。3 か月毎に評価し(状況によってはその限りではない)、入居者の現状に即した内容としている。プランはわかりやすい表現を交えて家族に説明し、了承を得ている。	介護計画書や家族へ毎月送られてくる写真付きの手書きの手紙などで、日々の様子を十分に知ることができている。一人一人にあったプランをたてて介護計画がつくられていると思っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者や家族の要望を聞き、担当職員の意見を取り入れて、計画作成担当者が土台になる計画を立てている。カンファレンスで職員と話し合い、最終的な計画を完成させ、家族に説明を行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個々の記録や気づきをもとにカンファレンスなどでアイデアや工夫を出し職員で共有、利用者の生活改善につなげている。また記録や気づきをもとに委員会を毎月開催しリスクマネジメントや身体拘束防止にも努めている。また職員間の申し送りの中で重要なことは写真や動画も用いて共有している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録や気づきをもとに委員会を毎月開催し リスクマネジメントや身体拘束防止にも努め情報の共有に努めているので、今後も続けていきたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人のニーズに沿ったサービスを提供できるように努めている。またスタッフや家族からの意見があれば、都度、本人の意思を確認しながら柔軟に支援ができるようにしている。例えば遠方の家族にはサイトや SNS を通じて日々の様子をお知らせしている	一人一人を支えるためのサービスをしてもらっていると思う。本人のニーズもちろんだが、家族や地域のニーズなども反映して行って欲しい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	景観の良い自然豊かな場所へのドライブ、地域に根付いている饅頭屋さんなどのお菓子や特産品の野菜・果物を使った郷土料理などを皆で楽しみながら体験できるようにしている	まだまだ外出できないと思うが、普段の生活の中の工夫を写真などで見せてもらっている。地域資源の中には人や組織の力も含まれている。民生委員や地域包括の方の力も借りながら利用者の支援を行ってほしい。また公民館などで感染対策をしながら行事を行ってもよいのではないかな。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	往診やネットで状態報告を行い、容態の変化時に対応できている。かかりつけ医との連携はとれており、緊急時にはタイムリーな受診、往診で適切な医療を受けることができる			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入退院時の付き添い、経過や生活状況、内服などの情報提供を行い退院時にはカンファレンスを行い、帰設後の生活がスムーズになるように病院との連携を密にしている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院後も様子を伺いに行くようにし、病院スタッフとの情報交換を行っている。退院前には退院カンファレンスに参加し、入院中の治療、生活、退院後の生活に注意すべきことなどを聞き、環境を整えている。今後は病院主催の勉強会の参加やドクターネットの親睦会に参加し、交流を深めていきたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重症化やターミナル期は家族・看護師・ケアマネジャーが一堂に集まり話し合いを重ねる。どこでどのように過ごしたいか家族の思いを尊重、方向性を見出し統一した方針で支援に取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に指針をもとに重度化・終末期支援に関するホームの取組を説明し、その時点での気持ちを事前指定書で確認している。開設時よりいくつかの事例があり、看取り支援を行うことによって、あらためて人の命の大切さ、家族の気持ちが一つになる光景を見ることができた。看取り支援については、法人全体やホーム内でも研修の機会を持っており、主治医との連携、チームワークの大切さなどをあらためて認識しながら、本人・家族の思いに応える最終の支援に取り組んでいきたい。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	急変事故発生マニュアルに従い関係機関への速やかな報、連、相を行って対応している。AED操作や講習会受講により知識技術の向上に取り組んでいる			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎年2回の消防訓練以外にも土砂災害に関する避難確保計画を定め、土砂水害時の防災訓練を行っている。また現在コロナ禍のため地域との直接のつながりは、少なくなっているが今後は地元消防団などとの連携を務めていきたい	食料の備蓄、味や食べやすさなどを、定期的に評価していてもよいのではないか。地域の方と顔の見える関係を築いて協力体制を築いてほしい。また避難経路の確認を行い、土砂災害に道路が通れなくなった場合でも避難ができるような避難経路も検討してほしい。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	今後は訓練を行う際、家族へも参加を呼びかけ意見や提案を受けることもよいと思われる。取り組みをつづけていきたい。また、昨今の自然災害のもたらす被害は想像を超えるものであり、机上を含め、あらゆる有事を想定して対策を検討していく必要がある。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人生の先輩であることを忘れず支援に努めている。カンファレンスの中で言葉使いなど含めて確認を行い、基本は苗字に様付けだが、本人の反応やこれまでの呼ばれ方から下の名でも対応している。職員の守秘義務は周知徹底している。同じ質問の繰り返しやたびたび起こる帰宅願望にも、安心感を与えられるよう相槌や変わらぬ丁寧な対応に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴や排泄時の声かけや日常生活の関わりの中でも目線や言葉づかい等のプライバシーに配慮した対応ができているか、カンファレンス等で確認している。個人の記録は事務所で保管し、個人情報の取り扱いには特に注意をはらっていききたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一日の大まかな生活の流れは設定しているが、利用者の気分や体調に合わせて生活できるよう配慮している。気分転換で外出したい方やテレビ電話をしたい方など希望に添えるようにケアを行っている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者に喜んでもらえるよう献立作成や調理もホーム職員が行っている。また、食材も地域農家から直接届く米をはじめ、地元や旬に拘って調達している。おせちや花見弁当、おはぎなどの手作りおやつや季節の郷土料理にも力を入れている。また、利用者の誕生日には好きなメニューを尋ねている。「ツボん汁」「混ぜご飯」など、はっきり要望を出される方もいるので要望に応じている。職員も同じものを介助しながら一緒に摂り時間を共有している。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	多くの食材を使ってホーム内での調理を行っている。食事は入居者や職員にとっても楽しみであり、継続していきたい。食事中入居者の発せられた一言など今後の食事支援に活かせるように記録を残しておくことも心がけていきたい
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	調理師と看護師、介護職で確認しあいながら献立をつくり、水分、食事摂取量は毎日把握し過不足がないように配慮している。また食事形態は常食以外に粥、きざみ、ミキサー食など食べやすい形にし栄養が不足する場合には補助食品で補うようにしている。		

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分でできる方には起床時や毎食後に口腔ケアの声かけや誘導を行っている。介護度が高い方には舌ブラシ、口腔ティッシュ、などで口腔衛生を保ち誤嚥防止などの個別ケアに当たっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分で口腔ケアが出来る人は、声かけ、出来ない方は、個別にケアをしている。特に介護度が進んでいる人は、スポンジブラシ等で口腔内の清拭やマッサージをやって、逆流性胃腸炎や誤嚥性肺炎の予防をしている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望も確認しながら紙パンツから布パンツへの切り替え、また便秘予防、自然排便を促すために乳製品の摂取や腹部マッサージを行っている。また本人の顔色や行動、発語にも気をかけ適切な間隔での排泄誘導、排便の状態の確認、便秘薬を用いている場合は、その周知を行い排泄支援に努めている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄の時間帯や回数のチェックを行うことで、パターンを知り、声かけと誘導を随時 行っている。トイレまでの移動や車いすからの立ち上がりなど、各利用者様が出来る部分を把握して自立を促している。清潔を第一 に考え支援を行ってきたい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	大まかな入浴計画は作成しているが、入浴前に本人に意思を確認し入浴を促す様にしている。暑い日や汗をかいた日など希望があれば自由な間隔で入浴していただけるようにしている			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	就寝の際にはいつでも好きな時間に休んでもらえるようにしている。室温調整や寒い日などは湯たんぽや足湯を行うなどのケアを行っている。利用者の状態に合わせて適度な午睡も取り入れている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスで薬について確認を行っている。また主治医とのSNS や電話などで薬の調整について随時相談に応じてもらっている。医師の診察後は報告書などの書面でも確認を行うようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の作用、副作用等については、薬局より説明書をファイルにして職員が周知出来る ようにしている。内容が変わったときには、記録に残している
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	洗濯物たたみが得意な方、台ふきやお盆拭きを好まれる方、気候の良い日に職員と一緒に中庭で草むしりや散歩を楽しむ方など、その日の気分や状況に合わせてメリハリ	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <p>できる事を手伝うことで気分転換にもなるし、(認知症になっても)『何かやる』という気構えが大事なことだと思います。また手伝いや役割をしてくださった利用者の方には、沢山ほめてあげてほしいと思います。</p> </div>		

				のある生活をおくれるように支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、コロナ禍のため、利用者の外出は、病院受診などの場合を除いて基本的に行っていない。ただし中庭や近所で日光浴や散歩を楽しむ、人が少ない馴染の場所へのドライブなどは行っている。	まだコロナで出かける機会が少ないと思います。できる範囲で工夫してほしい。例えば近所の散歩だけでも気分転換になると思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の要望に応じ、随時職員や家族と一緒に買い物に出かけていたが、現在は、要望を聞いて職員が代わりに買い物に出かけている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身の携帯電話で自由に電話をされる方、電話をお持ちでない方も電話の子機を使えるようにしている。コロナ禍の中、テレビ電話やラインでの通話、写真交換などでも楽しんでもらえるように支援をおこなっている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	木造家屋のアウトホームさ、季節に応じた飾り、調理中の匂いや包丁の音など生活を感じることでできる共有空間での暮らし、安全に配慮した家具などのレイアウト、適切な湿度温度管理など、心地の良い空間になるように工夫を行っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の状況や季節に応じ、ドライブ、近隣の散歩や買い物、ウッドデッキ・芝生で運動をするなど外気に触れる機会を持っている。桜や菖蒲をはじめとした花見や公園など地域資源を活用しており、開花時期やイベントなど、運営推進会議からも情報を得ている。今後は家族と協力して、日帰りの帰宅や泊りの支援も行っていきたい。	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際に本人と家族から意向を伺うが、入居後の生活の中でも随時本人の希望を聞きながら、望む暮らし方を探りケアプランに取り入れた支援を行っている			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでの人生において、何処で誰とどういう暮らしをしていたのか、本人だけではなく家族、友人の方から話を聴いてプランに盛り込むようにしている。(庭の手入れが日課、親戚の子供がたくさんおり、いつも子守をしていたので面倒見の良い人だったなど)			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアカンファレンスを通して利用者の状態を職員全員で共有し生活支援にあたっている。利用者の状態の把握のために毎日のバイタルチェックや月1度の体重測定、定期的な採血などを行い健康管理に努めている		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員一人ひとりが利用者様の個性を知り、ニーズや生活の課題を支援している。また安全に配慮しつつ、残存能力維持のための活動を日々の生活に取り入れるようにしている。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	可能な限り習慣をつづけられるように支援を行っている。起床や就寝時間、好きなテレビ番組の視聴、散歩などこれまでの習慣にそえるように努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や友人の写真、亡夫の位牌、人形、自分で作った衣服など馴染みのもの、大切にしているものを本人の周囲に配置し愛着のもてる場所にできるように配慮している		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の使い慣れた物や思い出の写真を飾る、馴染みのある畳を敷く等、御家族と相談しながら過ごしやすい空間作りを行っている。また居室の入り口に、行事や誕生日などのパネルなどを展示し親しみを持って頂けるようにしている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍による制限がない時には、スタッフと一緒に地域の祭りなどの催しものや買い物、寺社へのお参り、希望する場所に出かけていた。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の強みを生かし生活を楽しめるように支援を行っている。歩行や立ち上がりなどの訓練を利用者同士で応援しながら楽しんで頂いている事や台ふき、洗濯物たたみ、裁縫や料理などの家事を手分けして行い、役割を感じてもらっている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	天気や時事ニュースなどの話題を振って会話を楽しんで頂く、季節の花や野菜を共有空間に飾り暮らしに変化をすることで自然に季節感のメリハリや会話の話題が生まれるように支援をしている。	/	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでの生活や社会背景を知った上でケアができるように、生活歴をふまえた上で、どのような提案をすれば、利用者様が楽しく自分らしい生活を送れるのかをみんなで考え日々のケアに取り入れていきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在コロナ禍で制限があり以前のようにはいかないが、民生委員や町内会、近くの保育園などに協力を仰ぎ行事、地域の方々と交流できる機会を設けていた。	施設に限らず、地域住民同士の交流が以前に比べ減ってきている。自助、共助の為に近所との付き合いを大事にしなければならない。毎年、えがお人吉の職員が地区の清掃活動などに協力しているがもっと地域と交流をして欲しい。えがお人吉の職員に地域サロンに参加してほしい。	/	/
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	えがお人吉では、利用者の笑顔のために「今この瞬間を大切にしたいケア」を実践している。安心安全の為にケアや環境整備、自分らしさを保つための生きがいや役割、日常を楽しく過ごすための行事や食事など、日々の生活の質の向上に向けた取り組みに努め一日の多くの時間を穏やかに、楽しく過ごされている。	色々な行事の工夫や演出など利用者の笑顔がみられるような取り組みをされていると思う。利用者が安心して生活ができるように支援をしてもらいたい。よりよい支援を行う為に行政と民間の役割をリンクさせて、一緒に協力をして欲しいと思う。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節に応じて、門松や雛人形、クリスマスツリーなど変化を付けて楽しんでもらうこと、本人の使い慣れた物や思い出の写真を飾る、馴染みのある畳を敷く等、御家族と相談しながら過ごしやすい空間作りを行うこと、居室の入り口に、行事や誕生日などのパネルなどを展示し親しみを持って頂けるようにするなどの日常を楽しんでもらえる実践を引き続き行っていきたい